

勇敢に正しいことを行なった人

初めに：静かな場所でやってみましょう。聖句を読み、その情景の中に自分を置きます。場面を思い描き、声を聞きます。登場人物の気持ちになってみます。

目の前で起きている出来事のように感じ取りましょう。

おもな登場人物：バルク、エレミヤ、ユダの君たち

あらすじ：バルクはエレミヤの言葉を書き記し、ユダの君たちに読んで聞かせる。

1 場面について考えましょう。—エレミヤ 36:4-32を読みましょう。

「すべての君たち」が座っていた「書記官の食堂」はどんな所だったか、想像して書いてみましょう。

バルクはエレミヤの言葉を君たちに読み聞かせた時、どんな気持ちだったと思いますか。

16-19節で君たちは、どんな声の調子でバルクに話したと思いますか。

2 もう少し調べてみましょう。

バルクにとって、エレミヤの言葉を「その書の巻き物に」一度ではなく二度も書き記したことは、どれほど大変だったと思いますか。（ヒント：エレミヤ 36:4, 32をもう一度読みましょう。）

エレミヤの預言を書き記して読み聞かせるのを、バルクがためらったと考えられるのはなぜですか。（エレミヤ 26:8を読みましょう。）

エレミヤは、すでに長年にわたり民に預言をしていたにもかかわらず、なぜ預言を読み聞かせるようバルクに求めましたか。（ヒント：エレミヤ 36:7をもう一度読みましょう。）

3 学んだことを当てはめましょう。

以下の点について、学んだことを書き出してください。

神の崇拝者に勇気が必要なのはなぜか。

勇敢に正しいことを行なう人に、エホバ神はどのような報いをお与えになるか。

4 自問してみましょう。

特にどんな状況で、正しいことを行なうのに勇気が必要だろうか。

恥ずかしい時や怖い時に、勇気を奮い起こすために何ができるだろう。(フィリピ 4:6, 7を読みましょう。)

自分にとっていちばん大切なのはどんな点だろう。なぜだろうか。

やってみましょう：この出来事をニュース記事にしてみましょう。何が起きたかを伝え、おもな登場人物や目撃者に架空のインタビューをしてください。

